

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象
美術Ⅱ	2	2	全	必修	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7組

使用教科書・副教材	「高校美術2」 116-日文・美Ⅱ-302 日本文教出版				
指導目標	美術の基礎を学び、様々な観点から豊かな創造活動を展開させる。 美を感じ取る感性を高め、表現する楽しさや完成の喜びを味わう。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	形や色彩の性質や効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解している。 意図に応じて、材料や用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	感じ取ったことや自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に捉え創造的な表現の構想を練っている。	主題を生み出し、伝達する内容や目的などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通し持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。		

学期	月	週数	学習内容	学習のねらい	時間	
1	4	1	1,オリエンテーション 他己紹介・「ヒヨコの安心」	あらゆる美術の用具の扱い方や授業の流れについて理解する。 選択教科として、共に学習する新しい仲間とのコミュニケーションを図りながら、 作品制作を通して相手を思いやる心情を養い、表現する活動を行う。	2	
		2	2,「人物クロッキー」 (絵画表現)	クラスの友人を観察し、特徴を捉えてクロッキーで表現する。モデルの個性を捉えて 短時間で表すクロッキーの技法を生かして描く。	6	
		3				
	5	4	3,「色彩についてⅡ」 (絵画表現)	1 学年で学んだ色に関する学習を振り返り、更に効果的な「混色」の効果やモダン テクニックについて学ぶ。	8	
		5				
		6				
	6	7	5,カリュシウェアデザイン (デザイン)	これまでの学習を通して学んだことを基に、沖縄発祥のカリュシウェアのデザイン をビジネスやカジュアルなどの活用シーンに合わせて制作する。伝えたいテーマや 思いを基に主題を見つけ出し、色や形、材質などを考えて表現し、コンクールへの 出品を目指す。	6	
		8				
		9				
	7	10	6-1,「ポスターで伝える」 ① ・映画鑑賞 (映像メディア鑑賞)	読書感想画の制作に向けて、映像メディア作品の鑑賞を通して感情や思い、感動を 絵に表す活動に対する興味・関心を高揚させ、絵に表す主題や技法の発想を高め る。	10	
		11				
		12				
2	9	13	6-2,「ポスターで伝える」 ② ・読書感想画①「本選び」	学校図書館を活用し、読書活動に取り組み、自らの思いや感動を絵に表す「読書感 想画」の作品制作の主題を見つけることを目指す。読書を通して感じたことを絵の 具での作品制作に表すためのアイディアスケッチの活動を行う。	10	
		14	6-3,「ポスターで伝える」③ ・読書感想画 (絵画表現)	主題に基づき、色彩理論に基づき、自分の表したいイメージから構図や配色などの 画面構成を考え、その効果を工夫しながら表現する。絵に込めた思いや感情、色・ 形・技法の工夫などから感想を書き、作品の完成を目指す。		
		15				
	10	16	7,土でつくる器 ・陶芸 (工芸・クラフトデザイン)	粘土の特性を知り、基本技法（ひもづくり、タタラ技法）を体得する。 ①機能を考え、使用する目的に合うよう器を成形していく。活用シーンを考え、サイ ズや形などを考えて制作する。 ②食器の用と美について学び、使い勝手がよく美しい形になるようデザインを考案 して制作する。表現したいイメージを形にできるよう工夫する。 ③素焼き、本焼きを通して、窯詰めの方や釉薬のかけ方などを理解する。	12	
		17				
		18				
	11	19	8,クリスマスツリー (校内装飾) (絵画表現・木工芸)	校内を彩るクリスマスの装飾を豊かに話し合いながら考え、主題を生成する。 個々に作品制作を行い、その作品を集合させ構成することで、全校生徒を楽しませ る校内装飾となることを体験する。	8	
		20				
		21				
	12	22	9,「映画鑑賞」 ・映像メディア鑑賞	日本でCGの技法が使用された初期のアニメ作品と、連続撮影によるクレアアニメを 見比べて、現代の映像メディア表現との差異を感じ取る。	2	
		23				
		24				
3	1	25	10,「レザークラフト」 オリジナルキーケース (工芸)	皮革という素材の活用法や歴史を学び、その性質や加工技術を理解して制作する。 実際の生活に寄り添う、使いやすさや美しさ考えた装飾を行う。	8	
		26				
		27				
		28				
	2	29	表紙デザイン 「進路ノートをデザインしよ う」	全校生徒が次年度使用する「進路ノート」の表紙デザインを考案する。ノートに相 応しいテーマを掘り下げ、配色やレイアウトに気をつけながらデザインする。	6	
		30				
		31				
	3	32	まとめ	1年を振り返り、作品管理等のまとめをおこなう。	2	